

令和3年11月19日  
(2021年)

保護者のみなさまへ

吹田市立佐井寺小学校  
校長 勝田 宣孝

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和3年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析

#### ●国語《概要》

◎国語は全国値を上回る良好な成績であった。

#### ●国語《各領域における成果と課題、指導改善のポイント》

##### 《話すこと・聞くこと》

- ・全国値を上回っている。
- ・「話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考え、資料を活用して自分の考えが伝わるように話したりすることができる」については、全国値を上回っている。

##### 《書くこと》

- ・全国値を上回っている。
- ・「筋道の通った文章となるように文章全体の構成や展開を考えたり、目的や意図に応じて書き表し方を工夫したりしながら、自分の考えを書く」については全国値を上回っている。

##### 《読むこと》

- ・全国値を上回っている。
- ・「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握すること」は全国値を上回っている。
- ・「目的に応じ、文章と表を結び付けて必要な情報を見つけること」や「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」は全国値とほぼ同じながら、課題がある。

## 《伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項》

- ・「漢字問題」はおおむね全国値を上回っている。
- ・文の中における主語と述語の関係を捉えることは、全国値を上回っている。修飾と被修飾との関係を捉えることは全国値をやや上回ってはいるが、課題がある。

### ●国語科における成果と今後の改善点について

◇平均正答率が全国値を上回っており、例年に比べ高いと考えられる。

◇話すこと、聞くことの領域については、全国値を上回っており、日々の授業の中で話す、聞く活動を意識して取り組んできた結果だと考えられる。

◇記述問題は、全国値を上回っているが、差は大きくない。今後は以下のことに取り組む。

- 1 必要な情報を読んで文でまとめる、中心となる語や文を見つけて要約する、などの活動を増やし文章全体の構成を捉え、深い読みにつなげていく。
- 2 国語の時間だけでなく、様々な教科において、目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、事実と感想、意見とを区別して、自分の考えが伝わるように書く練習を重ねていく。
- 3 ICT をうまく活用し、書くことに抵抗のある児童についても、活動しやすいよう工夫する。

◇漢字や文法など、知識・技能分野での課題がある。教科書の単元で出てきた時に取り組むだけでなく、定期的に復讐する機会を設けていく。

### ●算数《概要》

◎算数は全国値を上回る良好な成績であった。無回答率が低く、ほぼ全問に解答していた。

### ●算数《各領域における成果と課題》

#### 《数と計算》

- ・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができている。
- ・小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述することができている。

#### 《量と測定》

- ・条件に合う時刻を求めることができている。

#### 《図形》

- ・三角形の面積の求め方について理解できている。
- ・二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方を記述することができている。

#### 《数量関係》

- ・速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことができている。
- ・速さを求める除法の式と商の意味を理解することができている。

## ●算数科における成果と今後の改善点について

◇例年課題のあった記述問題は、全国値を上回ることができた。

自分の考えを表現するなど、思考力を高めることを意識して授業改善に取り組んだ成果と考えられる。しかし、正答となるために必要な3つの条件のうち、1つが欠けてしまい誤答となるケースが昨年度同様多く見られた。この結果から、引き続き、文章を理解すること、書くことを大事にし、問いに対して自分の考えを持ち、しっかり考えを表現する力をつけていく必要がある。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に対する調査です。「当てはまる」「どちらかと言えはあてはまる」と回答した合計を肯定的回答として分析しています。

### 【学習環境・生活環境について】

- ・前回よりも生活リズムが整ってきている。朝食を食べている児童が増加した。
- ・地域行事への参加、清掃活動への参加が、全国値を下回っている。
- ・コンピュータなどの ICT 機器の使用頻度は全国値を上回っている。

### 【教科・学習について】

- ・「読書をしている」児童は、全国値を上回っている。
- ・「家庭で自分で計画を立てて勉強している」児童は全国値を上回っている。
- ・「算数の勉強は好きですか」については、全国値を上回っている。
- ・「国語の勉強は好きですか」については、全国値を下回っている。

## 3 今後の取り組み

《学校では》

☆今年度より「主体的に学びに向かい、思考力を高める」ことをテーマに、国語の授業研究に取り組み国語の勉強が好きになる児童を増やしていきます。国語にとどまることなく他教科においても、日々の授業で思考力を発揮する授業づくりを進めていきます。これからも全教職員が自己研鑽に一層励み研究授業・研究協議を通じて学校全体の授業力向上を図っていきます。

☆これまで学校生活や学校行事などあらゆる教育活動を通じて、児童の自主性を伸ばすこと、児童を称賛することに取り組んできました。しかしながらコロナウイルスの影響を受け、行事の中止や延期を余儀なくされてきました。失われた時間や機会を取り戻すべく、今後も児童一人ひとりが達成感や充実感を味わい、自分自身に自信を持って自己肯定感を高めていけるよう取り組んでいきます。

☆学習面における自主性を引き出す一つとして、自主勉強ノート「学ちゃん」に取り組んでいます。

更に今年度より1人1台端末を配布しました。これらをさらに有効活用して、児童が自ら学ぼうとする姿勢を育てていけるよう取り組んでいきます。

《家庭では》

☆学校生活を支える大きな力の一つに「早寝・早起き・朝ごはん」に代表される生活習慣があります。

家庭のしっかりとした支えが不可欠ですので、ご協力よろしく申し上げます。

☆家庭学習については、「家庭学習の手引き」を活用していただき、家庭の方での習慣づけをお願いします。

☆本校は地域行事も盛んな学校です。コロナ禍が落ち着きましたら、子どもが地域行事に参加するよう働きかけをお願いします。

☆これまで様々な場面でかけていただいている家庭での称賛や励ましの声かけが、子どもの活動の源となっています。コロナ禍の今だからこそ、より一層のご協力をお願いいたします。